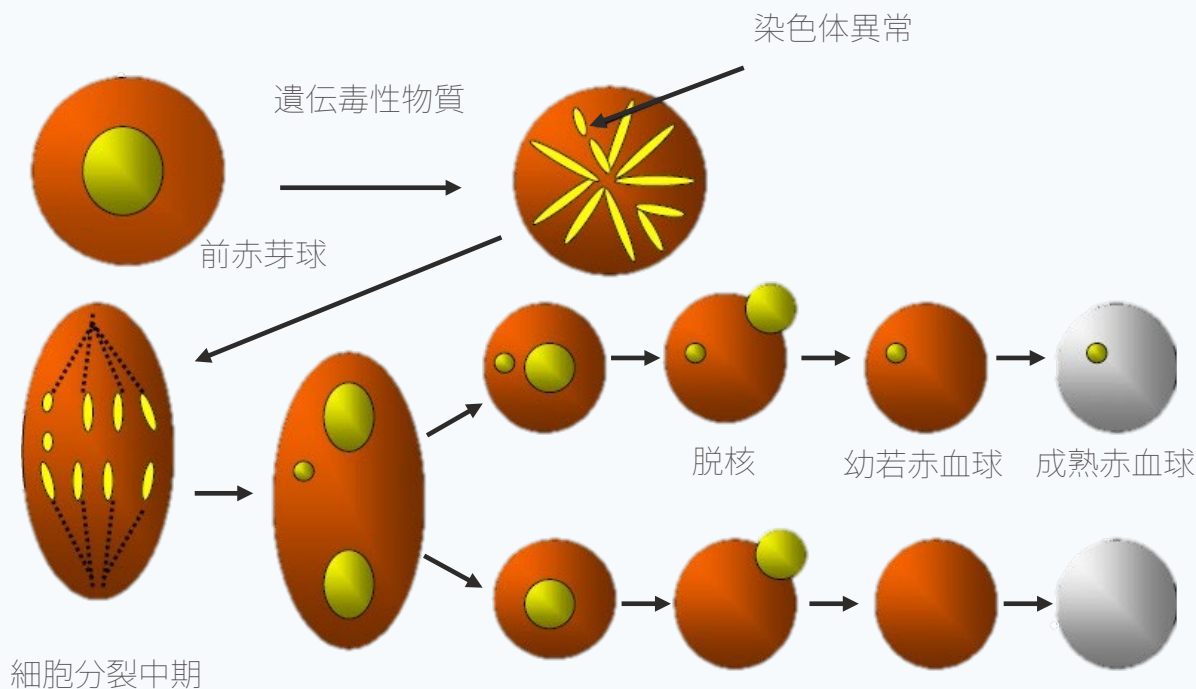


げっ歯類を用いる小核試験 (骨髓, 末梢血)

— 骨髓細胞もしくは末梢血における小核誘発を指標に、生体内における染色体異常誘発性を評価する試験法 —

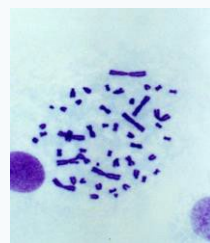
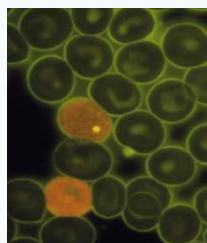


小核試験の特性

＊ 骨髓または末梢血の幼若赤血球を対象とした小核誘発を指標に、染色体異常誘発性を評価

＊ 小核試験のメリット

- 1) 異数性誘発物質も検出可能
- 2) 染色体異常試験に比べて観察が容易であり、フローサイトメトリーなどの自動化が可能



3) 染色体異常に比べて異常を検出可能な期間が長く、一般毒性試験への組込も可能

● お問い合わせ／資料請求はこちらまで

メディフォード株式会社 www.mediford.com

[東京] 〒174-0053 東京都板橋区清水町3-6-1号

非臨床事業部 tel. **03-6905-5861**



「生きていく」を明るく、前向きにする。



mediford
A Member of PHC Group

試験概要

- * 動物：ラット，マウス
- * 匹数：5～6 匹 / 群
- * 最高用量：最大耐量，1/2LD50など，毒性が無い場合は2,000 mg/kg
- * 用量：公比 $\sqrt{10}$ 以下，合計 3用量以上

